

ロングアドベンチャー

8月21日(水) ~ 8月26日(月)

IN 兵庫県立兔和野高原野外教育センター

	午前	午後	夜
1日目	施設に向けて出発	オリエンテーション 仲間作りゲーム	振り返り スタンツ練習
2日目	登山	登山 野外炊飯	振り返り スタンツ練習
3日目	野外炊飯 木の殿堂までハイキング	グループタイム 食材買い出し	振り返り スタンツ練習
4日目	ドリームキャッチャー作り	宿題タイム 野外炊飯	振り返り スタンツ練習
5日目	野外炊飯 グループタイム	グループタイム	キャンドルファイアー
6日目	施設清掃 グループタイム	施設を出発 解散式	

一日目： 5泊6日のTOPの中で最も長いキャンプ、ロングアドベンチャーが始まりました。参加者も少し緊張している様で、今から始まるキャンプに期待と不安が入り混じる表情での集合でした。しかし、バスに乗り込むとどこからか自然に歌を歌いだし、お友達との会話に夢中になり、と賑やかな施設までの道中でした。施設に着き、みんなを待ち受けたのは緑広がる芝生でした。早速で荷物を置き、芝生でレクリエーション大会。走る、走る、そして走る！！みんなの体力は驚異的なものがあり、リーダーがついていけず、息を切らせていました。その後、5泊6日お世話になる施設のオリエンテーションをしました。初めてのご飯は食堂で食べ、お風呂に入り、その後はふりかえりをしました。今回のふりかえり方法は絵日記をグループごとに作ることにしました。残り4日どのような絵日記が出来上がるか楽しみです。そしてドキドキのテント泊。なかなか居心地の良いテントで寝袋に入り初日が終わりました。



二日目： ロングアドベンチャー初めての朝。歯磨き、洗面、荷物整理、活動の準備と朝からてんてこ舞い。朝食を食堂で食べ、お腹いっぱいになったところで、登山へ出発です。ゴールの展望台までは、傾斜の緩やかな道が続きました。なかなかグループで足並みが揃わず、思ったように前へ進めません。山に入ると木陰も多く、口数も徐々に増えました。歩くペースが違う友達と一緒に進むことに苦戦しながらも、声を掛け合いゴールの展望台に到着しました。展望広場でグループタイムを過ごし、お弁当をみんなで食べました。下りはどこのグループも歌ったり、おしゃべりをしたりしながらワイワイ施設まで帰ってきました。その後テントで少し休憩をし、待ちに待った初めての野外炊飯をしました。今晚のメニューは「ピックオムライス」です。グループで大きなオムライスづくりに挑戦しました。かまどで火をおこし、飯盒を使ってご飯を炊きました。どこのグループもなかなか火がつかず、大苦戦でした。何度も失敗を繰り返しながら、どうにかこうにか火が付き各グループ個性的なオムライスが完成しました。入浴後、今日一日の思い出の絵日記を書き、寝袋に入るとすぐにスヤスヤ眠りについていました。明日も自分たちで楽しい活動をつくっていきたいです。



三日目： キャンプ場での生活にも慣れ、少し余裕がでてきた三日目。この日は朝から野外炊飯です。牛乳パックを使って「パックドック」を作りました。作り方はとても簡単なので、テキパキと作り、ペろりとたいらげました。昨夜降った雨の影響でプログラムを変更し、キャンプ場近くの「木の殿堂」という施設へ歩いて出掛けました。昨日の登山で、グループのペースができたこともあり、道中の自然を楽しむ余裕も見られました。午後からは、まだまだ歩きます。四日目の夕食の食材を買いに、施設のある山を降り、スーパーへ向かいました。一番近くのスーパーといっても、山を下り、丘を越え、二時間弱かかりました。予想を遥かにこえる道のりに弱音も多くなり、グループの列も次第にのびていました。やっとの思いでスーパーに到着すると、皆元気を取り戻し食材選びに奮闘していました。帰りは、途中まで車に乗り施設まで歩きました。途中、雨が降ってきましたがそんな状況も楽しむ姿に、逞しさを感じました。



四日目： いよいよ折り返しの4日目です。朝から雨が降っていました。そんな雨を朝からふっ飛ばそうと朝の集いでは、元気よくじゃんけん大会をして今日の晴れ男を決めました。そうしてみんなで天気には負けないようにテンションを上げていました。午前中のプログラムは工作。ドリームキャッチャー作りをしました。初めて作るドリームキャッチャーにしばし苦戦していましたが、コツが分かるとスイスイと上手に作りあげていました。ここで高学年と低学年で集中の差がでていました。それをフォローするかのようグループで一丸となり作っていました。少々いびつな形でも自分で作り上げた工作はオリジナルがあり、自分の物に愛着がわいているようでした。午後からは宿題タイムです。持ってきた学校の宿題や塾のドリル、感想文など様々な課題をやり上げていました。1時間半集中して、分からない箇所はリーダーに聞き、黙々と静かに頑張りました。晩御飯は、昨日、グループで買い出したものを作りました。暑いので冷やしうどんを作るグループもあれば、定番のカレーを作るグループもありました。野外炊飯も2回目で、手際よく作り、役割分担もハッキリしていました。出来上がったご飯は格別で、美味しそうに完食していました。



五日目： みんなと丸一日過ごすのは今日が最後の五日目。グループ、キャンプに対する意識も高まり、一日目と比べて顔つきが全く違います。今日は朝から夕方までずっとグループタイムです。やること、時間、場所全てグループで決め過ごしました。朝食はパンを焼き、昼食はたこ焼きパーティをしました。まさかキャンプで！？というメニューに大盛り上がり！グループでにぎやかにわいわい食べました。グループタイムでは、キャンプファイヤーで発表するスタンプを考えたり、一昨日に買ったおやつを食べたり、思い思いの時間をつくり過ごしました。そして、ロングアドベンチャー最後の晩ご飯。楽しく食事をしていた矢先、まさかの雨が降り始め急遽、キャンドルファイヤーに変更となりました。大きな火を囲んでのファイヤーではありませんでしたが、このキャンプで一番のテンションで全身いっぱい楽しみました。そして、緊張のスタンプ発表！いざ本番になると、目の色が変わりみんなの前でも堂々と披露していました。グループの色が存分に出ており、やりきったあとはみんな満面の笑顔でした。その後みんなで円になり、ロングアドベンチャーのたくさんの思い出を振り返りました。キャンドルファイヤーの余韻に浸りながら、時間いっぱい最後の夜をグループで過ごしました。



六日目： 最終日。心なしか子ども達の表情も達成感で晴れ晴れした表情です。最後の朝ごはんに向かう時、これが最後だということでのどのグループも手を全員でつないで食堂へと向かいました。この光景は初日では絶対に見ることはできなかったでしょう。朝食後は、5泊6日お世話になったテント、テント周辺の大掃除です。さすが5泊6日を通して“グループ意識”を強めてきたみんな、役割分担も自分達で話し合い掃除に取りかかりました。全員が頑張った証として、すぐに掃除を終え点検も一発OKをもらうことができました。その後は最後のグループタイム。残っていたおやつを食べたり、広い芝生で走って遊んだり、生き物とも戯れ、各グループおもしろおもしろい時間を過ごしました。そこには生き生きとした表情で、遊びまわる子ども達の姿がありました。お昼ごはんの後に、みんなの頑張りのご褒美かのようにかき氷ができました。「つめた〜い！」と舌をカラフルな色にして嬉しそうに食べていました。いよいよ施設ともお別れ。大きな声で感謝の気持ちをこめてお礼を言い、施設を後にしました。



<キャンプ総括>

今年のロングアドベンチャーも様々なドラマが生まれました。自分の思い通りにならないこと、苦しいこと、つらいこと、どうしようもできないこと、たくさんありました。ただただ楽しくて、わくわくして、嬉しいことばかりのキャンプではありません。5泊6日はじめてのお友達とリーダーと過ごすキャンプは長いと感じたことでしょう。しかし、そのしんどいときもどうしようもできないときも、すぐそばには支えてくれる仲間、共に共感してくれる仲間、グループという強い絆があったからこそ踏ん張る源になりました。喧嘩も言い合いもたくさんしました。本気でぶつかりあいました。本気だったからこそ、最後は“ありがとう”と肩を組める仲間ができていました。たった5泊6日でも“本気”の意味。本当の“仲間”の意味を感じることができたのではないのでしょうか。その感じたこと全てを日常生活においても大事にしたいなと心から思います。 (濱野 かおる)